

第2章 中津川市の現状と課題

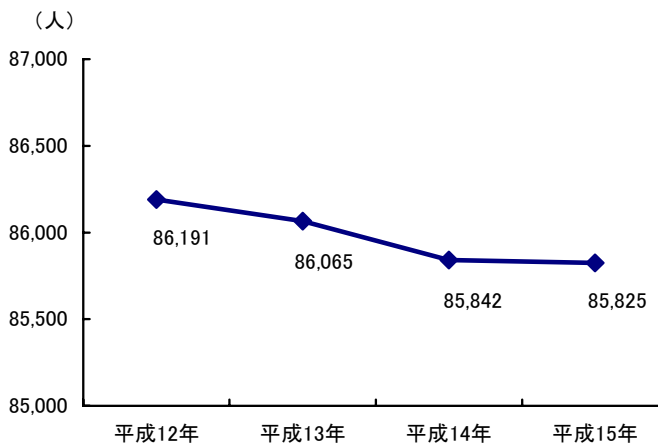
1. 少子化の動向

(1)人口の推移

人口の伸び悩み

本市の人口は、平成14年まで減少し、それ以降は85,800人程度で横ばいに推移しています。

図-1 総人口の推移



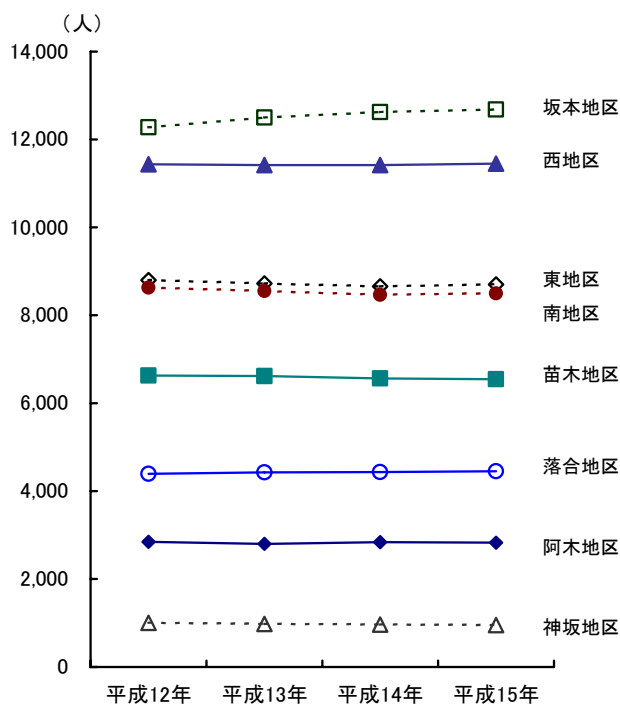
資料；国勢調査、岐阜県推計人口、各市町村資料

中津川地区の人口推移

地区別にみると、坂本地区、西地区の人口が多くなっています。

地区別の人口推移では、坂本地区および落合地区は人口が増加しており、逆に神坂地区は徐々に人口が減少しています。

図-2 地区別人口の推移（中津川地区）



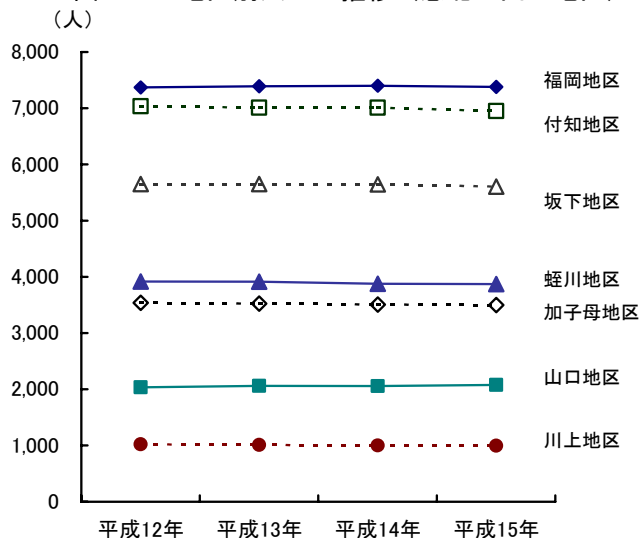
資料；中津川市資料

恵北・山口地区の人口推移

地区別にみると、福岡地区、付知地区の人口が多くなっています。

地区別に人口推移をみると、山口地区では増加、福岡地区では横ばいとなっていますが、他の地区では僅かですが、徐々に減少する傾向がみられます。

図-3 地区別人口の推移（恵北・山口地区）



資料：恵北町村・山口村 各町村資料

表-1 地区別人口の推移

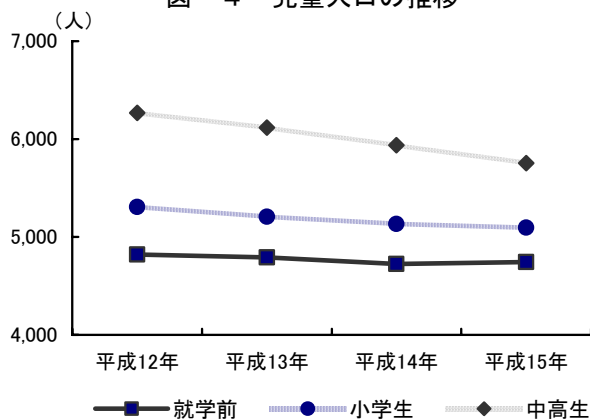
		平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	H15/H12
中津川地区	阿木地区	2,847	2,797	2,839	2,824	0.99
	坂本地区	12,273	12,499	12,622	12,681	1.03
	神坂地区	1,006	979	965	953	0.95
	西地区	11,436	11,416	11,416	11,451	1.00
	東地区	8,798	8,720	8,657	8,703	0.99
	南地区	8,627	8,550	8,463	8,499	0.99
	苗木地区	6,629	6,615	6,561	6,545	0.99
	落合地区	4,394	4,427	4,436	4,451	1.01
恵北地区	福岡地区	7,371	7,392	7,401	7,379	1.00
	付知地区	7,034	7,011	7,010	6,949	0.99
	坂下地区	5,651	5,652	5,644	5,605	0.99
	蛭川地区	3,916	3,913	3,879	3,872	0.99
	加子母地区	3,540	3,525	3,510	3,500	0.99
	川上地区	1,023	1,011	998	997	0.97
	山口地区	2,036	2,059	2,056	2,075	1.02

資料：各市町村資料

年齢が上がるほど、著しくなる児童人口の減少

年齢別にみると、就学前児童（0～5歳）の人口推移は若干の減少となっています。また、小学生（6～11歳）と中高生（12～17歳）と年齢が上がるにつれて、減少幅が大きくなっています。

図-4 児童人口の推移

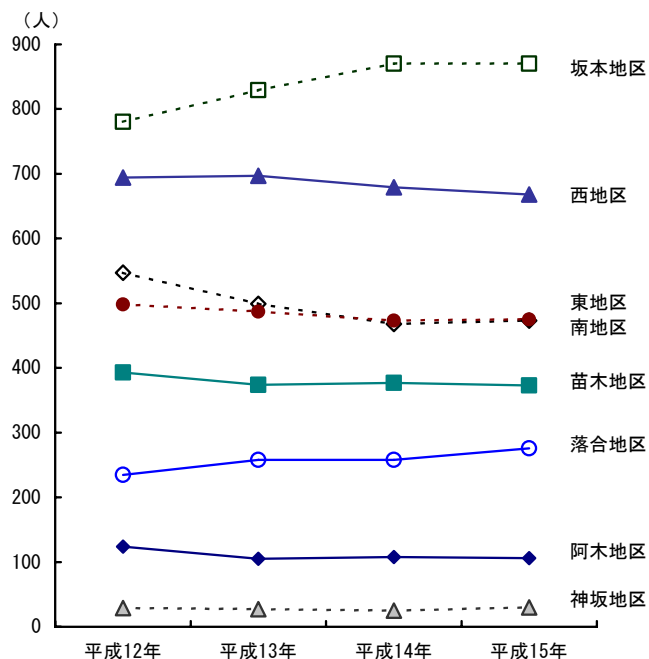


資料：各市町村資料

中津川地区の就学前人口の推移

就学前児童（0～5歳）の人口推移を地区別にみると、坂本地区での増加が大きく、神坂地区、落合地区においても増加の傾向にあります。しかし、それ以外の地区では減少しており、阿木地区と東地区は他の地区に比べて、減少幅が大きくなっています。

図－5 地区別就学前人口の推移（中津川地区）

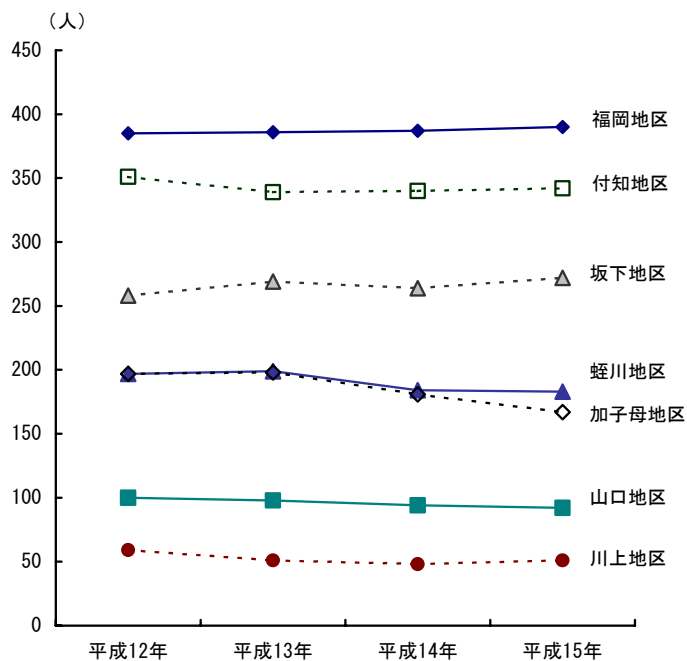


資料：中津川市資料

恵北・山口地区の就学前人口の推移

就学前児童（0～5歳）の人口推移を地区別にみると、福岡地区では概ね横ばいとなっています。それ以外の地区では減少しており、加子母地区、蛭川地区は他の地区に比べて、減少幅が大きくなっています。

図－6 地区別就学前人口の推移（恵北・山口地区）

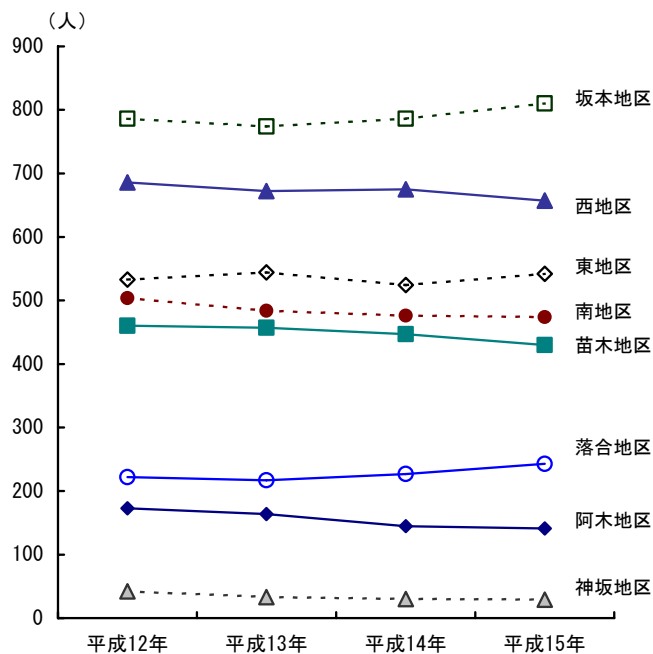


資料：恵北町村・山口村 各町村資料

中津川地区の小学生人口の推移

小学生（6～11歳）の人口推移を地区別にみると、阿木地区や神坂地区は減少幅が大きくなっています。それに対し、坂本地区、東地区、落合地区は増加しています。

図-7 地区別小学生人口の推移（中津川地区）

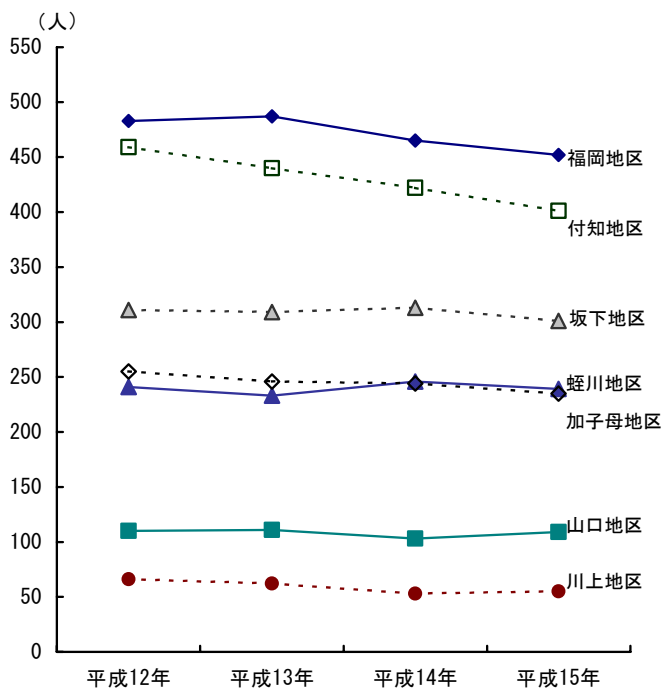


資料：中津川市資料

恵北・山口地区の小学生人口の推移

小学生（6～11歳）の人口推移を地区別にみると、いずれの地区も減少傾向にあり、付知地区は他の地区に比べて、減少幅が大きくなっています。

図-8 地区別小学生人口の推移（恵北・山口地区）



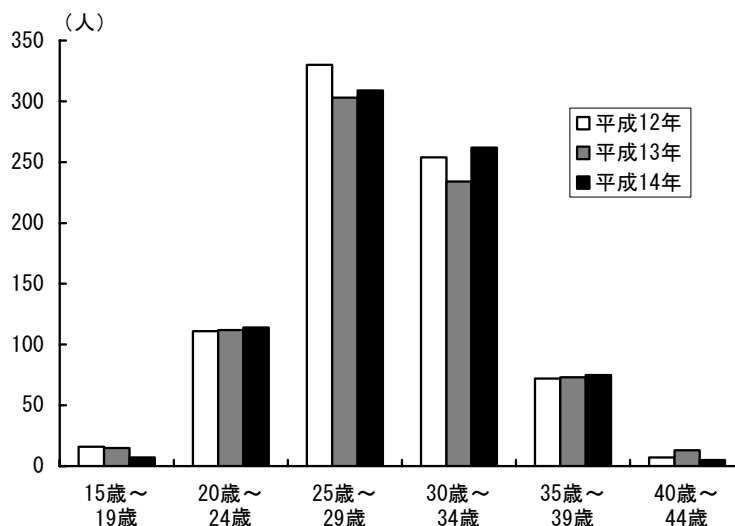
資料：恵北町村・山口村 各町村資料

(2)出生の動向

母親の出産年齢の高年齢化

母親の年齢別の出生数をみると、25～29歳の母親では減少の傾向にあります。一方、30歳代で出産する人は増加傾向にあり、子どもを産む母親の年齢が上昇しつつあることがうかがわれます。

図－9 母親の年齢別出生数の推移

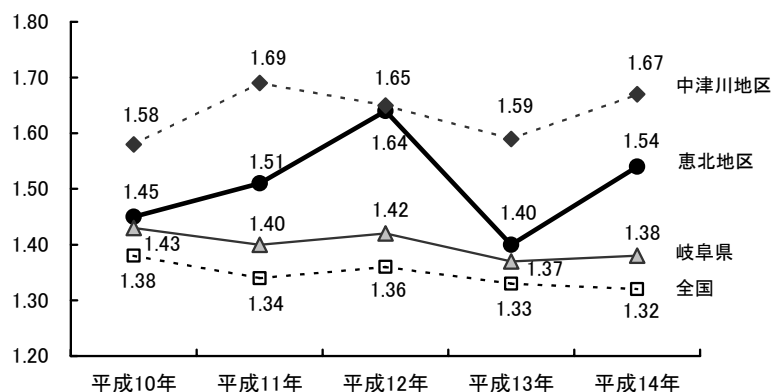


資料：岐阜県健康福祉環境部医療整備課資料

比較的高い出生率

中津川地区、恵北地区の合計特殊出生率は各年で増減はあるものの、国や岐阜県と比べて高い数値となっています。また、推移についても、増減はあるものの横ばいで推移しています。

図－10 合計特殊出生率の推移



資料：岐阜県健康福祉環境部医療整備課資料

(3) 婚姻の動向

平均的結婚年齢以上での未婚率の増加

男性の未婚率をみると、どの地区においても20歳代までは50%以上ですが、30歳以上では50%未満となっており、30歳前後が平均的な結婚年齢であることがうかがわれます。年齢別未婚率の推移をみると、25歳から34歳までの未婚率が増加しつつあります。

図-11 男性の年齢別未婚率（中津川地区）

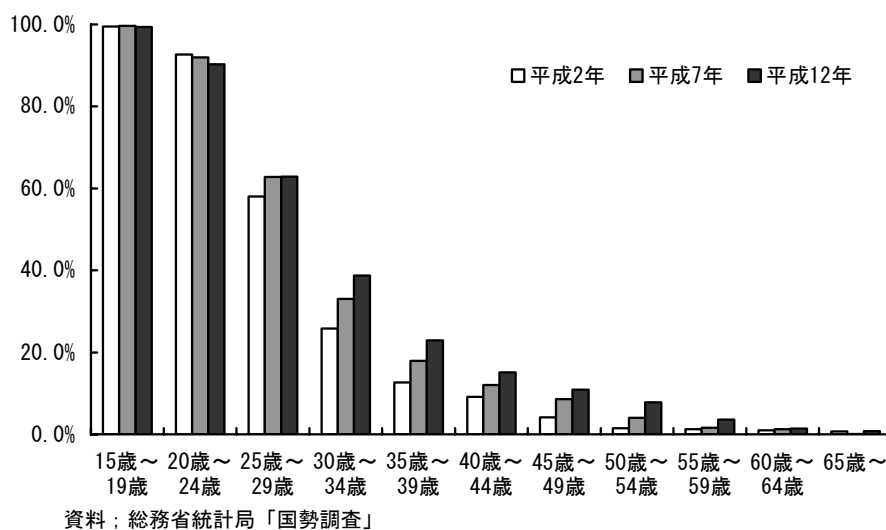
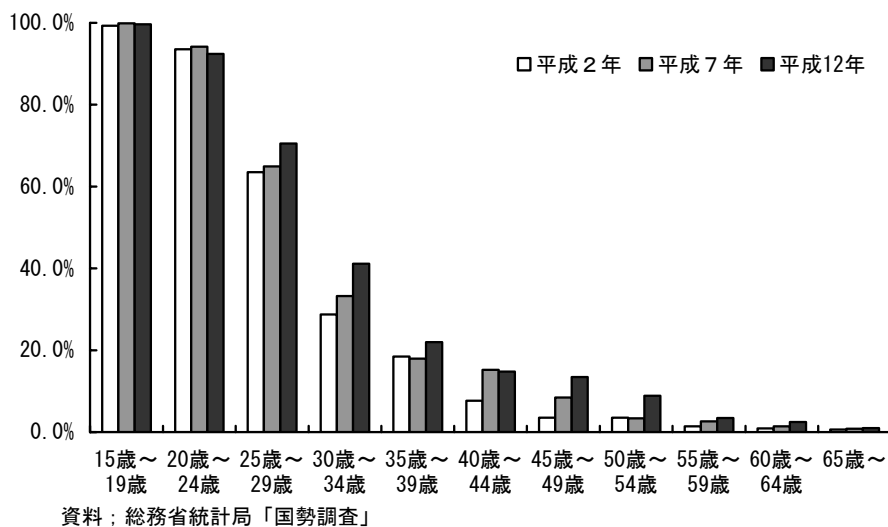


図-12 男性の年齢別未婚率（恵北・山口地区）



女性の未婚率をみると、どの地区においても20歳代前半までは80%以上ですが、20歳代後半では50%以下となっており、25歳前後が平均的な結婚年齢であることがうかがわれます。年齢別未婚率の推移をみると、どの地区も25歳から34歳での未婚率が増加しつつあります。

図-13 女性の年齢別未婚率（中津川地区）

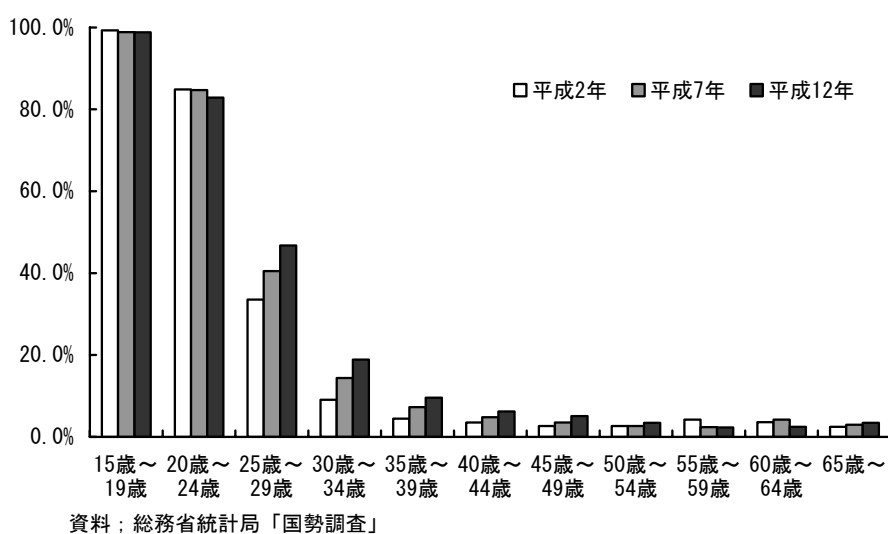


図-14 女性の年齢別未婚率（恵北・山口地区）

